

令和3年度当初予算編成方針のポイント

国・地方財政の動向

◇ 感染拡大の影響

- ・ これまで経験したことのない危機に直面し、4月～6月期のGDPは戦後最悪の落ち込み
- ・ 地方一般財源総額の確保は極めて不透明

◇ 骨太の方針2020

- ・ 感染拡大により明らかとなった課題を克服し、「新たな日常」を通じた「質」の高い経済社会の実現を目指す
- ・ 防災・減災、国土強靱化3か年緊急対策後も、中長期的視点に立って計画的に取り組む

徳島県の状況

◇ 新たな国難に直面

- ・ 「人口減少」と「災害列島」に加え、「新型コロナ」の国難を克服し、アフターコロナ時代の「新たな日常」実現に向け、既成概念を超えた積極果敢な挑戦が必要

◇ 「政策創造」と「健全財政」の両立

- ・ 国・地方の危機的な財政状況の見通しから、なお一層の努力が必要

編成方針

「新型コロナ」、「人口減少」、「災害列島」の「三つの国難」対策を推進！

I 「三つの国難」対策の推進

○ アフターコロナ時代に向けた「新たな日常」の実現を推進

- ・ 感染拡大で浮き彫りとなった課題を克服し、社会変革や地方回帰の流れを加速
- ・ 予算要求における「『新たな日常』実装枠」の創設とタスクフォースの活用

○ 「人口減少」、「災害列島」の国難打破の加速

- ・ 新たな「地方版総合戦略」に基づく「人口減少」対策の加速
- ・ 国の「3か年緊急対策」後の動向を注視し、有利な財源活用で「国土強靱化」を推進

II 異次元の「歳入・歳出改革」

○ 既存事業の徹底した見直し

- ・ コロナ時代に合った事業にリニューアル

○ 「とくしまスマート予算事業」のさらなる展開

- ・ 施策の実施に予算が伴う固定観念から脱却
- ・ 「リタイアインフラ価値創造事業」の進化
- ・ 「歳出の中から歳入を生み出す取組み」拡充

○ 政策提言を通じた財源確保・外部資金等の有効活用

- ・ 国補助金の有効活用や制度創設を提言
- ・ クラウドファンディングやネーミングライツ等の外部資金活用

III 「働き方改革」の強化

○ 枠査定方式の本格導入

- ・ 「一般行政推進費」枠の拡大による省力化
- ・ 「部局長裁量枠」の継続による迅速な対応

○ 効果的で効率的な予算発表

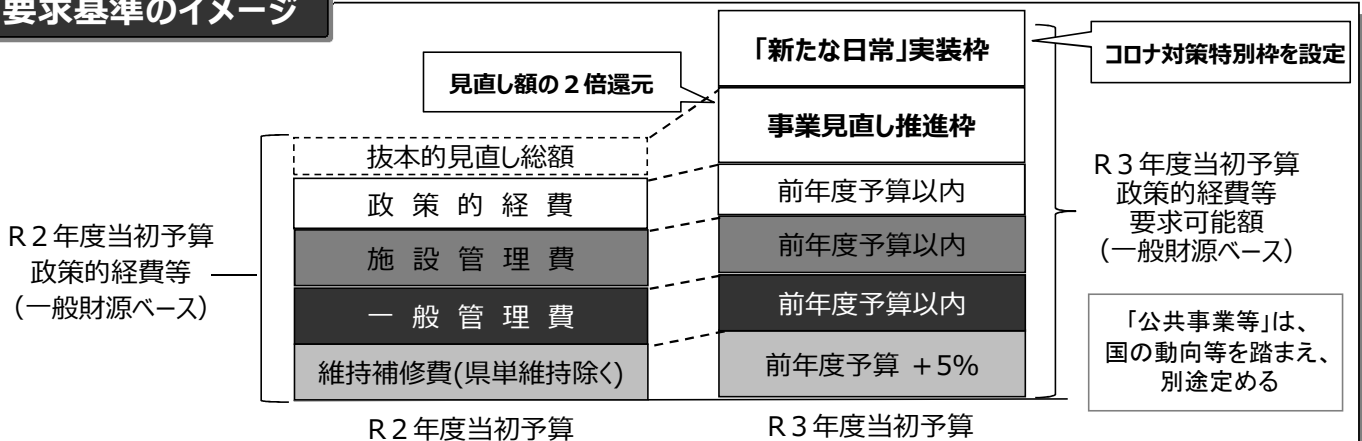
- ・ 重点化により、ポイントを絞った情報発信

○ マイナスシーリングの撤廃継続

- ・ 予算要求前の作業負担軽減、政策立案の促進

「三つの国難」打破に向け「政策創造」と「健全財政」を両立

要求基準のイメージ



編成スケジュール(予定)

- | | | | |
|-------------|-----------|--------------------|---------|
| ○ 庁議、編成方針発表 | 9月 9日(水) | 1ヶ月前倒しを継続で要求作業を平準化 | |
| ○ 要求書締切 | 11月 4日(水) | ○ 知事査定 | 1月 中旬頃 |
| ○ 財政課長査定 | 12月 中旬～ | ○ 予算案発表 | 2月 月上旬頃 |